

関西EGSユーザーズグループ活動報告

霜村 康平¹⁾, 伊東 宏之²⁾, 石原 佳知³⁾, 棕本 宜学³⁾

- 1) 近畿大学医学部附属病院 中央放射線部
- 2) 大阪市立総合医療センター 放射線腫瘍科
- 3) 京都大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学・画像応用治療学

Activities report of Kansai EGS User's Group

Kohei Shimomura¹⁾, Hiroyuki Itoh²⁾, Yoshitomo Ishihara³⁾, Nobutaka Mukumoto³⁾

- 1) Department of Radiology, Kinki University Hospital
- 2) Department of Radiation Oncology, Osaka City General Hospital
- 3) Department of Radiation Oncology and Image-applied Therapy, Kyoto University Graduate School of Medicine

【要旨】

関西EGSユーザーズグループの現在までの活動成果を報告する。

我々は、関西において2006年から汎用Monte CarloコードであるEGSの普及を目的として、EGSの初学者を対象にワークショップを年1回、講習会を年数回開催している。講義・実習内容は毎年度更新しており、2009年度には対象Monte CarloコードをEGS4からEGS5に移行することで受講者のニーズにも応えている。また、ワークショップの参加者に対して講習会への継続的な参加を勧めることで、ステップアップ形式でのEGSの知識・利用法の習得を目指している。受講者は放射線治療学、放射線診断学、核医学等の多分野から、学生、診療放射線技師、企業等、多職種の方が参加されている。

ワークショップ参加人数、講習会継続参加割合は毎年増加しており、受講生である兵庫県立がんセンターの小坂氏は、講習会で得た知識を基に、第37回日本放射線技術学会秋期学術大会において「放射線治療におけるモンテカルロシミュレーションを用いた遮蔽可能鉛厚の検討」という演題名にて発表を行った。

関西EGSユーザーズグループは、関西におけるEGS普及活動拠点として重要な働きを果たしている。

表 1. ワークショップ, 講習会の概要

	ワークショップ	講習会
頻度/年	1回	数回
規模	~50人	10人~40人
対象者	EGS初学者	ワークショップ受講者, 経験者
目的	使用環境の整備 概要の理解	段階的に知識・利用法の習得 詳細部の理解
	基本的な利用	実践的な応用
講習会形式	講義中心	実習中心

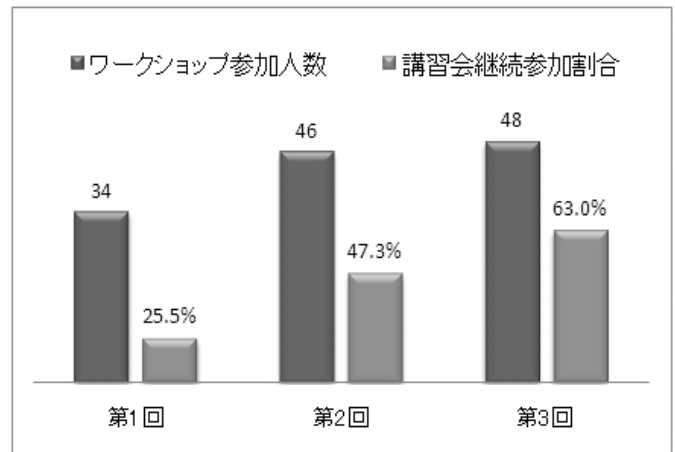


図 1. ワークショップ参加人数と講習会継続参加割合